

特集

岡谷市これからの5年間

伸びやかに発展していくために

第4次岡谷市総合計画

「後期基本計画(平成26～30年度)」策定

岡谷市民病院 完成予想図



新岡谷消防署 完成予想図



新岡谷蚕糸博物館 完成予想図



岡谷市看護専門学校



諏訪湖周クリーンセンター 完成予想図



この重要な5年間に、岡谷市が伸びやかに発展していくための考え方をまとめた後期基本計画では、前期基本計画に掲げた「たくましい産業の創造」と「輝く子ども」の育成」の2つの重点プロジェクトを継続するとともに、「安全・安心の伸展」を新たな柱として位置づけ、市民のみなさまの想いを込め、希望にあふれ、将来に夢を描くことのできる計画といたしました。

総合計画の将来都市像である「みんなが元気に輝く、たくましいまち岡谷」の実現に向け、まちの熟度をさらに高め、市民一人ひとりが、岡谷に暮らすことに誇りと自信、そして愛着を持ち、心豊かに暮らしていくことができるよう、市民のみなさまとともに、この計画の着実な実行に取り組んでまいります。

専門学校の開校、蚕糸博物館の移転開館、湖周ごみ処理施設の稼働など、市民生活の安全・安心を守り、健康で生きがいを持つて暮らしていくための基盤整備を中心とする重要施策が次々と実現し、岡谷市が未来に向かって飛躍する重要な時期となります。



平成26年度からの5年間は、新岡谷市民病院の開院をはじめ、新消防庁舎の開署、看護

岡谷市長 今井 竜五

おかやの将来都市像

「みんなが元気に輝く たくましいまち岡谷」

基幹産業である製造業を軸に各種産業の振興を図り、ふるさとを元気に。その活力と子育て支援によって人口を確保し、安定した財政基盤を確立。足腰の強い、健康で生きがいを持って、安全で安心して暮らせるまちの実現をめざします。

実現に向けて

目標の垣根を越えて
取り組んでいく

重点プロジェクト

「たくましい産業の創造」と「輝く子どもの育成」を前期基本計画より継承。東日本大震災の教訓や保健医療の重要性などを踏まえ「安全・安心の伸展」を新たに加えました。

基本目標 1 魅力と活力にあふれる、 にぎわいのあるまち

基幹産業の振興
産業の振興
勤労者対策の推進

基本目標 2 ともに支えあい、 健やかに暮らせるまち

保健・医療の充実
子育て支援
福祉の充実

基本目標 3 自然環境と暮らしが調和 した、安全・安心なまち

環境保全の推進
循環型社会の構築
安全・安心な暮らしの確保

基本目標 4 生涯を通じて学び、 豊かな心を育むまち

生涯学習の推進
文化・スポーツの振興
国際理解の醸成

輝く子どもの育成

安全・安心の伸展

基本目標 5 快適に生活できる、 都市機能の充実したまち

計画的土地利用の推進
交通網の整備
都市空間の充実

推進に向けて

市民総参加のまちづくり

開かれた市政運営の推進

将来を見すえた行政経営の推進

広域市町村との連携

新年度の重要施策

「岡谷市看護専門学校運営事業」

県内で唯一の全日制2年課程の看護専門学校として、4月に開校式ならびに第1回の入学式を行い、准看護師が看護師資格を得るために必要な教育を行っています。

また、学費の負担軽減を図るため、新たに修学資金の貸付を実施し、市内医療機関などへの就職にもつなげていきます。



「新岡谷蚕糸博物館整備事業」

蚕糸博物館は、本年8月1日の開館に向けて、旧農業生物資源研究所の改修を進めています。

伝統的繰糸技術を継承する全国で唯一の製糸工場「宮坂製糸所」を組み入れた新たな施設では、繭の香りが漂うなか「シルク岡谷」の歴史を感じながら、



実際に生糸の生産工程を見学できるほか、農業生物資源研究所から譲り受けた貴重な機械類の動態展示を行うなど、ほかでは真似のできない岡谷ならではの博物館になると考えています。

開館記念事業の特別展としては、日本のブライダルファッション界の第一人者である「桂由美ブライダルシルクコレクション展」の開催のほか、シルクサミットの開催などを予定しています。

「新消防庁舎建設事業」

新消防庁舎は、建物の基礎に続き、車庫棟、事務所棟の1階躯体工事および免震装置に支えられる2階、3階部分の鉄骨工事が完了し、現在、床工事へと工程を進めており、本年10月の庁舎完成と、平成27年4月の公用開始を予定しています。



庁舎建設にあわせ、諏訪広域連合では、消防本部と高機能消防指令センター整備にも取り組むほか、同じく平成27年4月の諏訪広域消防一元化の実現に向け準備を進めます。

「新病院建設事業」

平成27年4月の建物の完成、そして1日も早い新病院の開院をめざし、地上6階、地下1階の建物本体工事を順調に進めています。現在は、免震装置を含む地下の躯体工事を行っており、5月ごろには地上に建物の姿が現れる予定です。

今年度中には、本体工事の約90パーセントの進捗を予定しています。

また、市役所庁舎と現病院の間を走る「間下東街道線整備事業」を完成させるとともに、その道路から新病院、図書館に接続する「市道岡谷791号線整備事業」に引き続き取り組みます。



「湖周地区ごみ処理施設整備事業」

整備事業

湖周行政事務組合が整備する、諏訪湖周クリーンセンター（愛称…ecoポッポ）は、平成28年9月の稼動をめざし、現在は、岡谷市清掃工場の解体工事と敷地造成工事を進めています。両工事完了後、本年9月から新施設本体工事に着手する予定です。



平成26年度予算

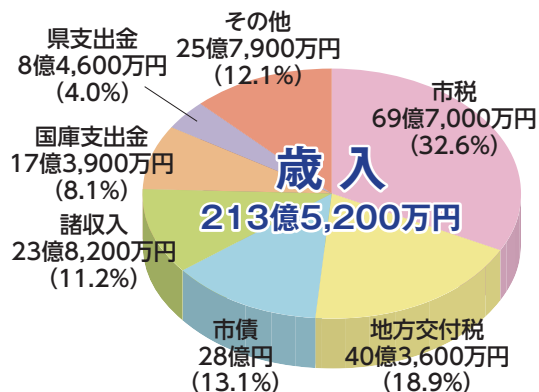
◆平成26年度予算一覧

※前年度比較の△印は、減額を意味します。

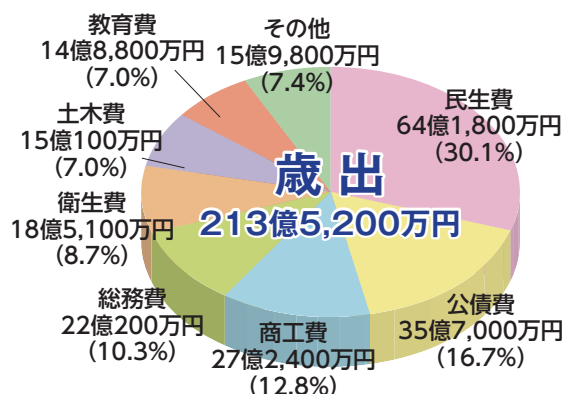
会 計 名		予 算 額	前年度比較
一 般 会 計		213億5,200万円	2億6,200万円
特 別 会 計	国民健康保険事業	50億6,660万円	△270万円
	地域開発事業	6億2,690万円	1億6,130万円
	分収造林事業	2,340万円	180万円
	霊園事業	1,470万円	△280万円
	温泉事業	1,970万円	△310万円
	訪問看護事業	4,060万円	30万円
	後期高齢者医療事業	7億1,200万円	7,110万円
	計	65億390万円	2億2,590万円
湊財産区一般会計		690万円	220万円
企 業 会 計	水道事業	13億135万9千円	4,240万2千円
	下水道事業	30億6,283万円	3億191万9千円
	病院事業	170億5,451万2千円	84億5,420万5千円
	計	214億1,870万1千円	87億9,852万6千円
合 計		492億8,150万1千円	92億8,862万6千円

※企業会計の金額は、収益的支出と資本的支出の合計です。

◆歳入(市の収入) ※()内は構成比



◆歳出(市の経費) ※()内は構成比



おもな事業と予算のあらまし

1 たくましい産業の創造

「首都圏産業振興活動事業」(拡充)

728万円

平成23年度より実施してきた活動のノウハウを活用し、新たに中小企業庁、関東経済産業局、長野県東京事務所への職員派遣により国や県との連携を深め、「おかや鶴峯工業団地」を中心とした企業誘致や販路拡大を推進します。

「3Dプリンタ利用促進事業」(新規)

61万円

飛躍的に進化を続ける3Dプリンタの市内企業に与える影響を考慮し、最新技術を用いたセミナーの開催など技術取得の支援を行い、今後の方向性を探るための機会を創出します。

「新技術・新製品等ものづくりチャレンジ企業応援事業」(拡充)

1,370万円

市内企業が単独または産学共同で新技術・新製品の開発を行う場合に、開発などに係る経費に対して助成を行い、企業の競争力の強化と新たな事業を創出します。平成26年度は、従業員10名未満の企業を対象とした「開発試作枠」の限度額を増額し、製造業のまち岡谷を支える零細企業の支援充実を図ります。

「企業連携推進事業」(新規)

マンパワー事業

小規模企業が抱えるさまざまな課題解決に向けて、企業の現状を多角的に分析し、市内企業間のネットワーク構築など、仕組みづくりの検討を行います。

「経済活性化講演会事業」(新規)

30万円

岡谷市、岡谷商工会議所、金融機関が連携し、東京工業大学教授 池上彰氏による「今、日本人が世界で活躍するために知っておかなければいけないこと」と題した経済講演会を開催し、地域産業の活性化につなげます。

(次ページへ続く)



(前ページより)

1 たくましい産業の創造

「商業活性化補助金」

1,633万円(うち財源留保分1,000万円)

空き店舗の改修、賃借料および既存店舗の改修の助成を行うことで、空き店舗の解消によるまちなかの賑わい創出と商店街の活性化を図ります。なお、改修のため本年8月をもって閉店となる大型店内のテナント商業者などへの支援に財源を確保します。

「いきいきマイファーム事業」(新規)

52万円

定年退職者や余暇を活用したい人を対象に、農業の基礎から応用までにわたる研修を開催し、農業の担い手の育成、拡大につなげるほか、県外の人に野菜づくりを体験してもらう「体験農園コース」を新たに設け、農業を通じた移住を推進します。



2 輝く子どもの育成

「第3次岡谷市児童育成計画、子ども・子育て支援事業計画策定事業」(新規) 411万円

現行の児童育成計画が本年度で計画年度終了となることから、児童育成に関する最上位計画として「第3次計画」を策定。あわせて来年度に予定される「子ども・子育て関連3法」の本格施行を前に、同施策の実施を図る計画を策定します。

「世界にタッチ 英語に触れよう事業」(新規)

マンパワー事業

保育園で、国際交流員による英語を用いた交流プログラムを開催し、園児が楽しみながら自然に英語に触れられる機会を設け、英語や異文化への親近感の醸成を図ります。

「保育園園庭芝生化事業」(新規)

177万円

園児の屋外活動の充実と安全・安心の向上のため、試験的にあやめ保育園の園庭の一部を芝生化し、寒冷地での生育や維持管理の検証を行います。

「特別支援教育推進事業」

405万円

児童や生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、生活や学習の困難を改善または克服できるよう、臨床心理士・特別支援教育士による心理的ケアや、専門性の高い発達検査を通じ、適切な指導と支援を行います。また、昨年度に引き続き、障害のある子どもの状況に応じた教育的支援を居住地学校で行うため、副学籍による交流および共同学習に取り組みます。

「小中学校耐震・大規模改修事業」

7,570万円(うち財源留保分3,000万円)

耐震補強が必要とされる小中学校の改修・改築を年次的に実施し、児童・生徒の安全確保と教育環境の整備を図ります。平成26年度は、西部中学校管理教室棟の耐震改築に向けた実施設計を行います。

「かがやけ おかやキッズ 体力アッププログラム事業」(新規)

175万円

社会状況の変化に伴う子どもの体力低下に対応するため、小学校1・2年生の学校体育授業に専門指導員を派遣し「コーディネーショントレーニング」などを通じて、基礎的な運動能力の向上とスポーツの振興を図ります。



3 安全・安心の伸展

「血管を守ろうプロジェクト事業」(新規)

33万円

健康づくり講演会や運動講座、地区保健委員会活動などを通じて、ライフステージ別の健康課題や必要な取り組みを周知啓発し、市民の生活習慣の改善につなげ、第2次健康増進計画がめざす「健康寿命の延伸」を図ります。

「すこやか食生活サポート事業」(新規)

27万円

特定保健指導対象外のハイリスク者に対して、新たに個別訪問を行い、生活習慣病の発症・重症化を予防します。

「こころのバリアフリー推進事業」(新規)

20万円

障害者らの日常生活や社会生活上の「社会的障壁」の除去に向け、障害への理解を深める啓発活動を強化するほか、障害者優先調達推進法に基づく岡谷市調達方針を推進し、共生社会の実現に努めます。



3 安全・安心の伸展

「こども防災教育事業」(新規)

マンパワー事業

保育園や幼稚園を訪問し、親しみやすい紙芝居やゲームを通じて、各種災害や防災について考えるきっかけ作りを行い、幼少期からの防災意識の醸成を図ります。

「水位センサー設置事業」(新規)

750万円

30号線(東堀線)のJRの立体交差に、水位センサーおよび冠水表示システムを設置し、道路利用者の安全を確保します。

「ゾーン30整備事業」(新規)

420万円

生活道路での交通事故や自転車事故多発を受け、県警と協力するなかで、区域(ゾーン)を設定し、時速30kmの速度規制を実施するとともに、路面標識設置などの安全対策を講じ、歩行者の安全を確保します。



そのほか

「武井武雄生誕120年記念事業」(新規)

300万円

平成26年度は、武井武雄の生誕120年にあたることから、全国へ武井武雄の童画文化を発信するため、NHKサービスセンターとの共催により、全国巡回展を開催します。地元市民が武井武雄のすばらしさを再認識する機会として各種プロモーション事業を展開し、童画のまちづくりを推進します。

「第3次岡谷市環境基本計画策定事業」(新規)

143万円

岡谷市環境基本条例(平成10年制定)に示された基本理念を踏まえ、その行動指針となる「岡谷市環境基本計画」について、平成27年度を初年度とした第3次岡谷市環境基本計画を策定し、事業を推進します。

「空き家対策事業」(新規)

18万円

少子高齢化などにより、空き家が年々増加していることから、空き家の利活用を促すため、「空き家バンク」を開設し、情報を提供するとともに、長期間放置されたままの空き家の適性管理を促すための条例を制定し、移住の推進と生活環境の保全に努めます。

「雨水渠整備事業」(新規)

4,000万円

雨水による浸水被害を防ぐため、県事業の田中線改良にあわせ若宮地区(護美沢川)の雨水渠の整備を行います。

「道水路等新設改良事業および維持補修事業」

2億6,522万円

救援物資の輸送、緊急車両の移動など被災時特有の交通需要に対応できるよう、主要幹線道路を迂回する市道17号線(鶴峰天白線)や市道湊5号線道路改良などを行います。32号線(湖岸通り線)の舗装更新、側溝改修など、計画的かつ予防的な維持修繕に取り組み、安全で快適な道路環境を保持します。



以下の2つの事業は、国の緊急経済対策に基づく交付金を活用し、平成26年度に実施していきます。(平成25年度補正予算対応)

「岡谷738号線整備事業」

5億5,640万円

コンクリートパネルの崩落が確認された岡谷738号線について、社会資本整備総合交付金の採択を受けて、復旧・整備します。

「小中学校非構造部材耐震改修工事」

9,700万円

田中小学校小体育館、上の原小学校体育館、岡谷北部中学校小体育館のつり天井など、非構造部材の撤去・補強について、学校施設環境改善交付金の採択を受けて工事を行います。



問合せ●財政課(内線1531)・企画課(内線1521)